



＃1 旅団狙撃集合訓練



連隊は、4月11日(月)から4月27日(水)までの間、第一次旅団狙撃集合訓練を担任して訓練を実施した。

本訓練は、本部管理中隊狙撃班長を主任教官として旅団隷下部隊の狙撃要員に対し、狙撃手として必要な潜入や射撃に係る練度の向上及び狙撃手要員の育成を図るものである。

第一次訓練で明らかにした各種課題を克服し、8月からの方面集合教育を終了できるように第二次・第三次訓練において練度を向上させる予定である。

旅団対空実射射撃



連隊は、4月6日(水)から4月9日(土)までの間、静内対空射撃場において実施された第2次旅団対空実射訓練に参加した。

各射手は、本射撃訓練を有意義なものとするため、真剣な眼差しで訓練に励み、その練度の向上を図った。



連隊は、4月19日(火)に陸曹候補生2次試験を実施した。受験者は、試験科目である「分隊教練」や「口述試験」に万全な状態で臨むため、課業外の時間も惜しんで練成に励み、その成果を遺憾なく発揮して、全力を出し切った。



連隊は、4月3日(日)から自衛官候補生課程の教育を実施中である。新型コロナウイルス感染症等により教育が一時中断することもあったが、この難局を乗り越え教育を再開した。立派な自衛官になるべく着実に前進中である。



第1普通科中隊 准陸尉 葉澤 寿幸(4・4・7) 最近の報道でもある通り、国内外の情勢が目まぐるしく変化しています。任務遂行に必要な体力・気力や団結力を更に高め、我が国の防衛に尽力されることを期待しています。私は第2の人生へと向かいますが、18連隊の皆様を陰ながら応援しています。

退官者紹介

＃1 部外講話



連隊は、4月18日(月)に令和4年度第1回部外講話を実施した。講師に札幌護国神社宮司 反橋 進(そりはしすすむ)氏を迎え、「令和の時代に於ける英霊祭祀(戦没者慰霊)」を演題として講話して頂いた。

現在日本の礎を築いた先人の活躍や不安定な国内外情勢における自衛隊の在り方等について講話して頂き、我が国の平和と独立を守ることを新たな士気と意気込みで、人間力の強化にも繋がり、史料館研修を終了後、史料的理解の促進を図った。

新型コロナウイルスワクチン接種支援



本部管理中隊衛生小隊 長谷 2 曹は令和4年3月31(木)から令和4年5月1日(日)までの間、大阪府大阪市に設置された大規模接種会場にて新型コロナウイルス感染症に係る接種支援に参加して、その任務を遂行中である。

隊員コーナー



連隊本部1科広報室で勤務する小林美貴(2等)陸曹は、新潟県出身で日本大学卒業後バイアスロン選手として陸上自衛隊体育学校に所属、日本選手権スプリント競技を始めとする各大会で活躍した翌年、ソチ五輪日本代表に選ばれ各種競技に参加した。

現在も余暇を利用した趣味の一環として、クロスカントリースキーやトリレイルランなど勢力的に活動している。